

## 「エンド・オブ・ライフ」旅立ちは慈恵園で ～多職種連携で取り組む看取りケア～

慈恵園での暮らしの中で、やがて訪れる旅立ちの日「エンド・オブ・ライフ」があります。エンドは「終わり」、ライフは「いのち」です。現在、入居者の平均年齢は90歳、介護度4、在園期間は3年。入居した日から思い出を作る時間です。どの様に暮らしたいのか、最後は病院か施設かの意向確認を事前に本人、家族に伺い、一緒に生活する中で再度、意思確認をしていきます。平成17年から始め令和2年度まで16年間で185名の看取りがありました。

法人介護理念は「ご家族と一緒に看取ります」看取りケアは下記の内容です。

### ①看取り期の食事…平成17年に栄養ケア・マネジメントを導入する

- ・飲み込みテストで、飲み込む力、嚥む力を確認し個別の食事形態を決める。
- ・毎月、アルブミン値、身長、体重、喫食率から栄養状態の把握、確認。
- ・体調に合わせて食べられるタイミングで家族、職員と食事会(思い出レシピ)

### ②平成22年「看取り期」の食べる事を支える栄養ケアチーム発足

### ③ターミナル期の検討…栄養ケア会議で確認する

- ・**プレターミナル期**…生化学データや体重、食事量が変化していく時期。体調が少しずつ変化している事に気づく時である(中・高リスク)
- ・**ターミナル期**…体重、食事量が大きく変化する時期。一口でも食べられる食事の工夫をする(高リスク)
- ・**終末期**…本人、家族が思い出を作る時期。一緒に食事(思い出レシピ)やハンド・フットマッサージ、保湿を行う

- ④死亡確認は平日の日中が嘱託医、夜間・土日祝日等は医師会の協力を受けて行っています。
- ⑤多職種の役割を明確化する

- ・**管理者**…穏やかな最期を迎えられるように最善の判断をする
- ・**介護支援専門員**…情報の集約、栄養ケア会議主催・栄養計画作成
- ・**管理栄養士**…栄養状態の把握、思い出レシピ実施、元気になる食事作り
- ・**看護師**…穏やかな最期になるように医師と連携し職員と看取りケアの実現
- ・**生活相談員**…本人・家族の意向に添い意思決定ができる環境を作る
- ・**介護職員**…暮らしの中で本人の一番身近な存在として生活全般を支える
- ・**事務職員**…看取りをしやすい環境や情報を発信する

慈恵園での看取りケアは病院と異なり濃厚な医療は出来ません。病院での医療を望むのか、施設で穏やかな自然死を選択するのは、本人と家族が決める事になります。人生100年時代、現在、死亡ピーク年齢は男性85歳、女性91歳(2018、人口動態統計)です。2025年は5人に1人が75歳以上の日本になります。

まず、私達の基本は本人の人生を知る事であり、人は何歳になっても一人ひとり考えや、生き方、人生があります。一人の人としての尊厳をしっかり守り、理解することです。そして本人、家族、地域の皆さんに慈恵園があつて良かったと選んでもらえる特養の継続が必要です。

そのために職員は法人理念の和顔愛語の実践と困った事があれば協力し、嬉しい時は一緒に喜び合える51年間、培ったチーム慈恵園の誇りと技術を身に付けていきます。それが「最期に旅立ちは慈恵園で」と安心してもらえる場所に繋がっていくと考えます。

# ターミナルケアフローチャート

[令和3年5月26日現在]

## 1. 新規入居時 意向確認

→生活相談員がターミナルケアについて説明し、ご本人とご家族に最期をどこで暮らすか（慈恵園・病院）伺う。  
意向確認書をいただく。

## 2. 暮らしぶり、体調が変化してきたとき再度意向確認

「食事が摂れなくなってきた」「食事をしても痩せてきた」「発熱が多くなってきた」等  
→ご家族へ今の状態を説明し、今後の方向性を決めます。  
※あくまでご本人の希望を尊重します。

## 3. 慈恵園の対応

・意向確認次第、ケアの見直し等おこなっていきます。

## 4. プレターミナル期

- ・体調や栄養状態の低下、食事量減少があります。
- ・ターミナル期に移る可能性が高い状態です。
- ・状態に合わせて、食事量や離床などケアの内容を検討変更します。

5

## 5. ターミナル期

- ・思い出レシピを行います。  
思い出レシピとは・・・  
ご家族と一緒に、ご本人の好きだったものなど思い出のメニューと一緒に食べて、同じ時間を過ごして頂きます。
- ・ご家族と一緒に過ごす時間を大切にし、泊まって過ごすこともできます。

## 6. 終末期

- ・思い出レシピを行います。
- ・医師が診断した内容と、想定される経過や状態をお知らせします。
- ・呼吸が速くなったり、肩で呼吸します。尿が出なくなってきました。
- ・意識がもうろうとしていることがあります。
- ・スキンシップ、コミュニケーションによる継続的な見守りをします。
- ・最期までご家族や職員と支えあって暮らします。

## 7. 看取り

- ・呼吸停止が確認された所で、嘱託医・当直医に報告し、24時間以内の死亡診断を受けます。
- ・診断後、職員で旅立ちの準備（エンゼルケア）をさせていただきます。
- ・慈恵園での思い出の写真をお渡しし、生活の様子をお伝えし、葬儀社のお迎えに合わせて、旅立ちを見送らせて頂きます。

6

## ～職員研修発表会から～ ターミナルケアの取り組み

### ●平成24年度 施設だからできる看取りケアの明日へ

#### ◎事例 87歳女性

家族代表者長男様「母には医療費がいくら掛かってもできることをしたい」

「食事が摂れなくなったら食道瘻の増設を…」

「母にとって一番良いのは何かわからない…」

家族間で「最期まで医療を」という意見と「自然に」という意見が…

栄養ケアチームが行ったこと・・・ご家族の迷いを共有しよう

- ・病院、慈恵園のターミナル

どちらの選択になっても悔いを残さないケアを提案

- ・何とか体調の維持を…

食事にこだわらず好きな物を…、会話の時間も持とう

- ・ご家族の決断がつくまで園での生活を何とか繋げよう

- ・ご家族での話合いの結果、園のターミナルケアへ

- ・ターミナルケアの意向を盛り込んだケアプランに変更へ

- ・思い出づくりの食事会を実施

決断に迷ったご家族が泊まり込みで付き添いを…食事会から半月後に永眠

ご家族より 「ここに泊まってみて本当に驚いた。夜中に何度も顔を見に来て

くれて身体に触ってくれるなんて思ってもいませんでした。

ただただ有難い…本当にありがとうございました」



7

#### ◎いつ訪れるかわからないターミナル期に備えて

美味しく食べてゆくために口腔機能維持と口腔清潔のケアを

現場の介護職員から慈恵園の看取りが確立されて来ている

決断は厳しく難しい…不安な気持ちで最期を迎える…施設だから出来るケアがある

#### ◎今の「暮らし」はいつまでも続かない… だから今が大切な時

慈恵園のターミナル同意の方々の思い

～104歳誕生日の願いは「まだまだ長生きしたい」

～迷って決断、後悔はしたくない家族の思い

……この方々のために、ご家族のために、私達のために  
慈恵園のターミナルケアはこれからもいつも側にある



芦別慈恵園栄養ケアチーム

# 忘年会

平成23年12月28日(水)  
慈恵園会議室にて

冬にぴったりの暖かお鍋で  
まんぶく まんぶく



8